

## 脳波検査をお受けになる患者さんへ

検査前には、**排便・排尿を済ませて**おいて下さい。

前日は髪を洗い、当日は整髪料を使用しないでお越し下さい。

※小さなお子様は、眠った状態で検査を行います。

当日は、寝不足気味の状態で来院（来院時は車中で睡眠をとらないように注意）していただきますと速やかに眠りについていただけるため検査をスムーズに行うことができます。

検査中安心して眠れるように、空の哺乳瓶・オムツの予備・おもちゃなどの**愛用品**を持参して下さい。

検査の種類	検査時間	検査の内容
脳波検査	約1時間程度	脳の電気活動を波形として記録します。
脳幹誘発反応検査 (ABR,VEP,SEP)	約1時間程度	聴性（ABR）・視覚（VEP）・体性（SEP）の3種類の検査があります。 それぞれの検査に合わせた刺激を繰り返し行い、その時に誘発される脳幹の反応を調べる検査です。
自動聴性 脳幹反応検査 (AABR)	約10分～	新生児の聴覚スクリーニング検査です。 聴覚障害を早期に発見し、適切な時期に支援を開始することで、障害を最小限に抑えることが可能になります。 当院で出産された新生児、他医療機関から紹介された乳児が対象になります。
MCV・SCV (神経伝導検査)	約2時間程度	神経に異常がないかについて調べる検査です。 末梢神経に電気刺激を与え、発生した筋電位を記録し末梢神経や感覚神経の量的、質的変化を検査します。
EnoG (顔面神経伝導 検査)	約1時間程度	顔面表情筋の筋電図検査です。 筋肉の動きを電氣的に評価し、顔面神経麻痺の予後の推定を行います。